

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965

株主通信 vol.39

RYOWA REPORT

空
気
と
水
の
テ
ク
ノ
ロ
ジ
ー

第71期

中間期 業績のご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

- ① ごあいさつ／トップインタビュー
- ④ 施工実績
- ⑤ 特集：テクノ菱和創立70年のあゆみ
- ⑦ 連結財務情報
- ⑨ 会社概要／株式の状況



当社は本年12月をもちまして、おかげさまで創立70周年を迎えることができました。これもひとえに、株主のみなさまをはじめ、お客様、取引先企業様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今後もいまだ一度創立時の精神に立ちかえり、より一層の発展を目指し社員一同決意を新たに努めていく所存でございます。

さて、テクノ菱和グループは、このたび第71期(2019年4月1日から2020年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長執行役員

黒田 英彦
Hidehiko Kuroda

経営理念

「空気と水のテクノロジー」を通じて
環境にやさしい生活空間の創造を目指す。
環境エンジニアリングを中核事業とし、
ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す。
人材の育成・教育を重視し
働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する。

行動規範三訓

遅しい心身の鍛錬
意志疎通の徹底
技術力の研鑽

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境は
いかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国経済は、企業収益は一進一退ながらも高水準を維持しており、改善が続く雇用環境を背景として実質所得も堅調に推移するなど良好な状況が見受けられる一方で、足許の輸出はアジア向けを中心に力強さを欠き、長引く米中対立が先行きの不透明感を高めるなど、景気の足踏み感が深まる展開となりました。

建設業界におきましては、公共投資は前年度を上回る水準となったものの、民間建設投資には大きな上積みは見られず、工場の新設などに対する投資の勢いが鈍るなど、予断を許さない状況が続きました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は受注高35,530百万円、売上高29,674百万円、営業利益1,739百万円、経常利益1,844百万円、中間純利益1,214百万円となりました。

当中間期は、受注については一般ビル設備工事において前年を上回る受注量を確保できたものの、産業設備工事においては大型案件の受注が減少したことから、全体としては前年を下回る結果となりました。売上高につきましては、前年度から繰り越した工事が順調に進捗したことから前年より増加し、売上高の増加と工事粗利益率の改善に伴い利益についても前年を上回ったため、当中間期において前年同期と比べ増収増益となりました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
受注高	35,530	36,286
売上高	29,674	27,371
営業利益	1,739	969
経常利益	1,844	1,206
中間純利益	1,214	767

(注) 本報告書において、中間(当期)純利益は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を指します。

Q 上半期の取り組みについて教えてください。

A 当期は創立より70年間培ってきた実績と経験に基づき、新しい菱和の時代を切り開くという意味を含め「70年の実績と経験を礎に、新しい時代の菱和を創ろう」というスローガンを掲げ、事業活動を推進しております。

具体的には、中期3か年事業計画に示した基本方針を軸として、規模の拡大に捉われず、医薬品関連・食品をはじめとする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注活動を推進し、景気動向に左右されない事業基盤の確保を目指してまいりました。

また、当社のCSR活動を広くステークホルダーのみなさまへ発信すべく、本年9月より毎年1回、CSR報告書を発行することといたしました。今後も引き続きCSR活動の拡充と当社のブランド力を高めるIR・広報活動を推進し、更なる企業価値向上に努めてまいります。



TECHNO RYOWA CSR REPORT 2019

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期につきましても良好な雇用環境が続くものの、消費税率引き上げに伴う個人消費への影響が懸念されることから、引き続き予断を許さない状況が続くことが見込まれます。建設業界におきましても、国内企業の省力化・合理化に向けた設備投資需要による下支えが期待できるものの、輸出産業の低迷に伴い生産活動は力強さを欠くことから、全体の設備投資需要は伸びが鈍化することが予想されます。

当期の連結業績見通しにつきましては11月6日に期初計画を上方修正し、売上高63,000百万円、営業利益3,420百万円、経常利益3,610百万円、当期純利益2,360百万円を見込んでおります。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
受注高	60,000	67,149
売上高	63,000	67,391
営業利益	3,420	4,518
経常利益	3,610	4,857
当期純利益	2,360	3,041

Q 株主のみなさまへのメッセージをお願いします。

A 当社といたしましては、今後も引き続き医薬品・食品関連施設をはじめとする産業設備工事を中心とした受注確保を目指すとともに、喫緊の課題となっている働き方改革への対応につきましても、IT・IoT技術を積極的に導入し従業員の就業環境の整備を推し進めることで、生産性の向上と企業競争力の強化に取り組んでまいります。

なお当期末の配当金につきましては、創立70周年の記念配当1円を含む1株につき12円とし、年間では、記念配当2円を含む1株につき24円とさせていただきます。

当社グループのより一層の発展に向けて全力で取り組んでいく所存でございますので、株主のみなさまにおかれましては、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

八戸市 長根屋内スケート場(YSアリーナ八戸)



本物件は、国際大会の開催も可能なスピードスケート専用のスケート場と多目的に利用できるアリーナを備え、地域の交流拠点・防災拠点としても位置づけられた公共施設であります。スケートリンク内の空調は、デシカント空調機を用いた湿度制御とソックスダクトによる気流制御を行っており、競技選手への負荷を低減する空調環境を実現しております。



概要	
完成年月	2019年6月
施工地	青森県八戸市
建物用途	屋内スケート場
延床面積	26,274.00㎡
物件形態	地下1階、地上3階
工事範囲	空調設備工事

昭和薬品化工株式会社 新歯科製造棟



本物件は、歯科材料、歯科機器の分野で国内シェアNO.1を誇る株式会社ジーシー^(※)が、歯科用医薬品事業の発展に際し建設された工場であり、注射剤を中心とした歯科用医薬品製造の重要な拠点として位置づけられております。空調方式は、モジュールチラー+空気調和機を採用しており、施設内の清浄度が異なる複数のクリーンルームに対しては、微差圧制御による空圧・気流・清浄度の厳密な管理を行っております。

(※)昭和薬品化工株式会社は株式会社ジーシーのグループ会社です。

概要	
完成年月	2019年6月
施工地	神奈川県川崎市
建物用途	歯科医薬品工場
延床面積	5,339.23㎡
物件形態	地上3階
工事範囲	空調・衛生設備工事

株式会社松岡 福岡Central DC



本物件は、福岡市内の人工島「福岡アイランドシティ」に建設された最新鋭の低温物流センターであり、水産・畜産・氷菓など多岐に渡る製品を取り扱う九州最大規模の施設となっております。設備としては、事務棟に冷暖フリー型ビルマルチエアコンを採用し、各室の負荷に応じた空調制御を可能としております。また冷蔵倉庫棟の屋内消火設備には配管内の凍結防止のため、乾式消火栓設備を設置しております。

概要	
完成年月	2019年4月
施工地	福岡県福岡市
建物用途	事務所・冷蔵倉庫
延床面積	35,056.00㎡
物件形態	事務棟地上8階、冷蔵倉庫棟地上4階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事

京都大学 桂図書館



本物件は、同校桂キャンパスに全学的機能をもつエリア連携図書館として新たに建設されました。設備としては、貴重書庫・準貴重書庫は、恒温恒湿用パッケージエアコンにより庫内を恒温恒湿環境に維持・管理するとともに、消火設備にハロン消火を採用することで重要な書物の保全を図っております。また学習スペースは1、2階吹き抜けの大空間のため、床輻射空調設備を採用しております。

概要	
完成年月	2019年9月
施工地	京都府京都市
建物用途	図書館
延床面積	4,540.93㎡
物件形態	地下2階、地上2階
工事範囲	空調・衛生・消火設備工事

特集 | テクノ菱和 創立70年のあゆみ

株式会社テクノ菱和は1949年12月に創立し、おかげさまで今年70周年を迎えることができました。この70年の間に当社は数多くの実績を上げ、技術力の研鑽に努めてまいりました。これからも株主の皆様からの信頼とご支援をいただけるよう、企業価値の向上に努めるとともに、設備のライフサイクルに関するソリューションを提供し社会に貢献する企業として成長してまいります。

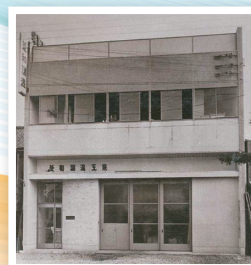
70年間の主な沿革

1949年

1949年12月
 レイト工業株式会社として
 名古屋市瑞穂区熱田東町
 に設立



1949年 レイト工業株式会社



1958年
 名古屋本社(※)



1961年 東京支店(※)



1975年
 大阪支店
 (※)

1953年1月
 商号を菱和調温工業株式
 会社に変更
菱和調温工業株式會社
1956年8月
 東京営業所(現 東京本店)
 開設

1960年

1962年6月
 大阪営業所(現 大阪支店)
 開設

1966年5月
 九州支店開設

1966年12月
 名古屋から東京へ本社移転
 名古屋支店開設

1967年12月
 仙台営業所(現 東北支店)
 開設

1975年4月
 横浜営業所(現 横浜支店)
 開設



1983年 技術開発センター(※)



2006年 技術開発研究所(※)

1980年

1980年4月
 技術開発センター
 (現 技術開発研究所)
 開設

1989年9月
 商号を株式会社テクノ菱和
 に変更

1990年10月
 株式を社団法人日本証券
 業協会に店頭登録

1996年12月
 株式を東京証券取引所
 市場第二部に上場



70 Years of History

2000年

2011年1月
 インドネシア
 ジャカルタ駐在員事務所
 開設

2015年6月
 ミャンマー事務所開設

2018年9月
 横浜市にテクノ菱和R&D
 センター新設

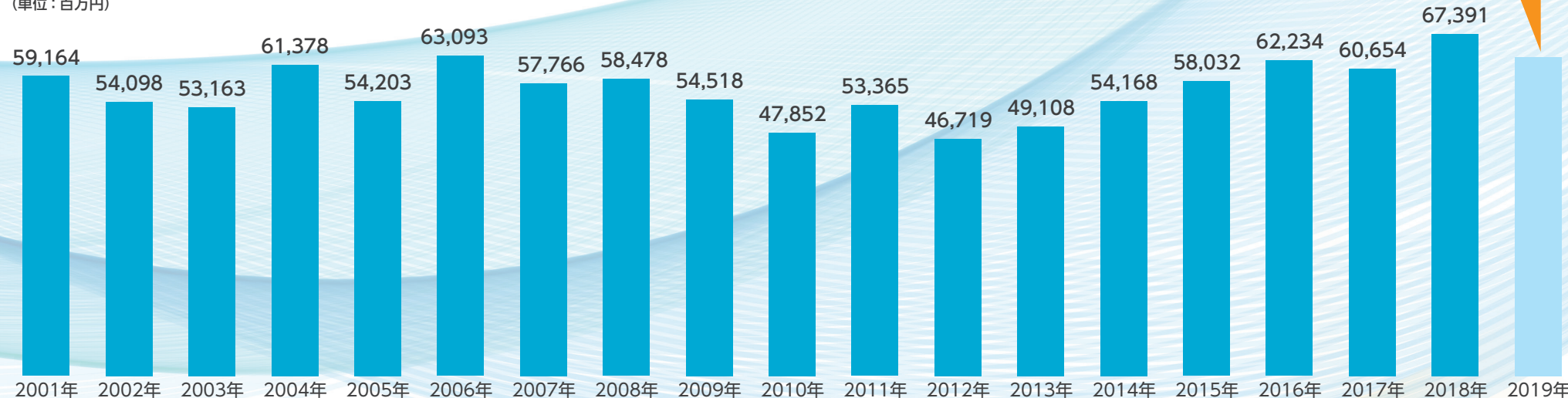


2018年 テクノ菱和R&Dセンター(※)

2019年予想
 売上高 **63,000**百万円

2001年以降の売上高の推移(連結)

(単位:百万円)



(※)撮影時の西暦年を記載しています。

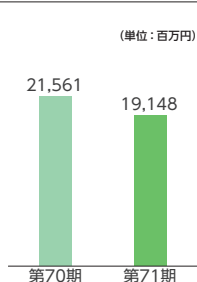
受注高 35,530 百万円 < 前年同期比 2.1%減 >	売上高 29,674 百万円 < 前年同期比 8.4%増 >	経常利益 1,844 百万円 < 前年同期比 52.9%増 >	中間純利益 1,214 百万円 < 前年同期比58.2%増 >
--	--	---	---

受注高構成比
(総受注高に対する割合を示しています。)

産業設備工事

53.9% 19,148百万円

当中間期は、医薬品・食品関連施設を中心に受注量を確保したものの、前年に大型案件の受注があった反動から、全体としては前年を下回る結果となりました。今後も当社の得意とする産業設備工事を中心にバランスのとれた受注を推進するとともに、ライフサイクル貫ソリューションビジネスを実践し、お客様との関係強化に努めてまいります。



電気設備工事

3.5% 1,238百万円

連結子会社の松浦電機システム株式会社が、発電設備、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。



冷熱機器販売

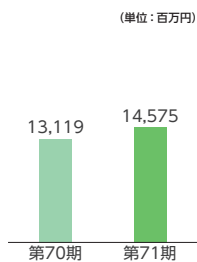
1.6% 569百万円

設備工事に関する空調機器等の販売を行っております。

一般ビル設備工事

41.0% 14,575百万円

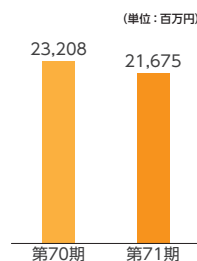
当中間期は、医療施設や商業施設を中心に受注が堅調に推移し、前年を上回る受注量を確保できました。今後も継続的な設備の更新需要を取り込むとともに、学校や病院をはじめとするインフラ需要にも対応し受注量の確保に努めてまいります。



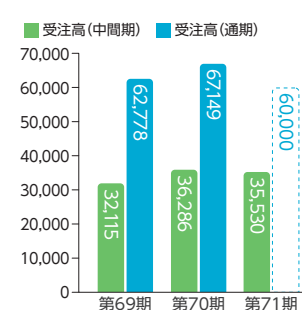
設備改善工事

61.0% 21,675百万円

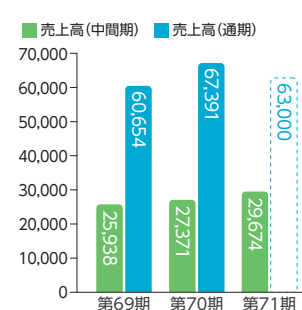
施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と経年劣化した設備の機能回復や、より効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。



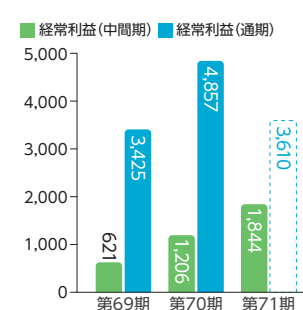
受注高の推移



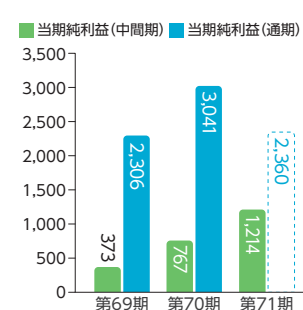
売上高の推移



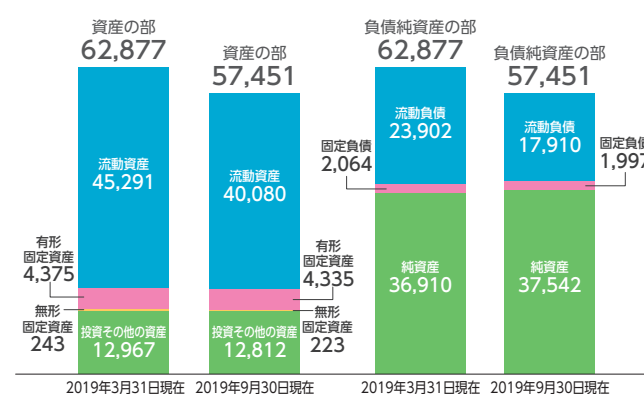
経常利益の推移



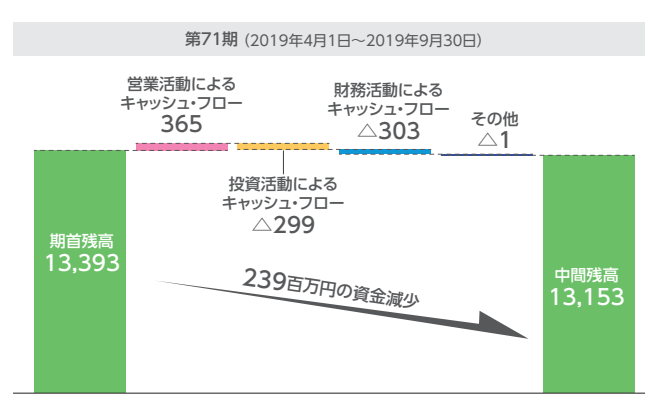
当期純利益の推移



貸借対照表の概要



キャッシュ・フローのポイント



財務のポイント

<p>資産の部</p> <p>流動資産における受取手形・完成工事未収入金等の減少19億円、電子記録債権の減少31億円、固定資産における投資有価証券の減少3億円を主な変動要因として、前期末と比較して54億円減少し、574億円となりました。</p>	<p>負債の部</p> <p>流動負債における支払手形・工事未払金等の減少35億円、電子記録債務の減少19億円を主な変動要因として前期末と比較して60億円減少し、199億円となりました。</p>	<p>純資産の部</p> <p>利益剰余金の増加9億円、その他有価証券評価差額金の減少2億円を主な変動要因として、前期末から6億円増加し375億円となり自己資本比率は前期末と比較して6.6ポイント上昇し、65.3%となりました。</p>	<p>キャッシュ・フロー</p> <p>税金等調整前四半期純利益の計上による資金増加18億円、売上債権の減少による資金増加50億円、仕入債務の減少による資金減少54億円を主な変動要因として現金及び現金同等物は前期末と比較して2億円減少し、131億円となりました。</p>
---	--	---	--

詳しい情報はウェブサイトへ



会社概要 (2019年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)

設立 1949年12月23日

資本金 2,746,800,000円

上場 東京証券取引所市場第二部

従業員 739名 (連結858名)

本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

登記上の所在地 東京都港区芝大門2丁目12番8号

事業内容 当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業ならびにそれらに付帯する業務を行っております。お客様のビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客様を総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業
- 太陽光発電事業
- 一般ビル設備関連事業
- 不動産賃貸事業
- 電気設備工事業
- 保険代理事業
- 冷熱機器販売事業
- 建設資材製造販売業

主な事業所

技術開発研究所(神奈川県横浜市) 名古屋支店(愛知県名古屋市)

東京本店(東京都豊島区) 静岡支店(静岡県静岡市)

千葉支店(千葉県千葉市) 大阪支店(大阪府大阪市)

茨城支店(茨城県土浦市) 中国支店(岡山県倉敷市)

北関東支店(埼玉県さいたま市) 九州支店(福岡県福岡市)

東北支店(宮城県仙台市) 海外事業部(東京都豊島区)

横浜支店(神奈川県横浜市)

役員 (2019年9月30日現在)

取締役

代表取締役 黒田 英彦

取締役 飯田 亮輔

取締役 鈴木 孝雄

取締役 根岸 孝雄

取締役 星野 宏一

取締役 武田 公温

取締役(社外) 雑賀 純二

取締役(社外) 小栗 章雄

取締役(社外) 本間 正広

執行役員

社長執行役員 黒田 英彦

専務執行役員 飯田 亮輔

常務執行役員 鈴木 孝雄

常務執行役員 星野 宏一

常務執行役員 根岸 孝雄

上席執行役員 黒田 長憲

上席執行役員 窪 和敏

上席執行役員 加藤 雅也

上席執行役員 福士 富三

上席執行役員 大石 勉

執行役員 永崎 公幹

執行役員 鈴木 俊夫

執行役員 袴田 一博

執行役員 齋藤 吉信

執行役員 伊豆丸 暢

執行役員 富山 潤也

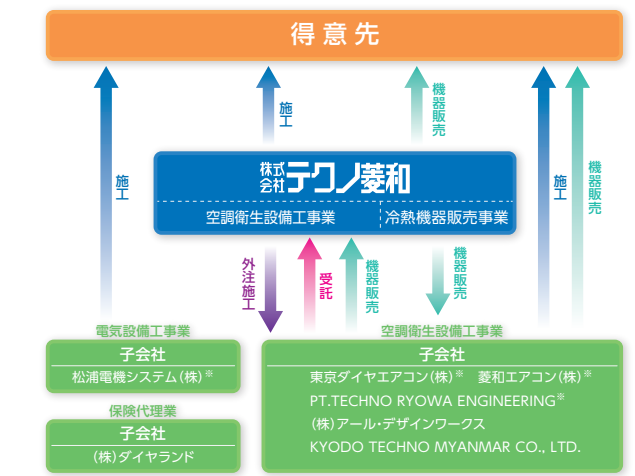
企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイアエアコン株式会社* 株式会社アール・デザインワークス
所在地 東京都新宿区 所在地 大阪府大阪市
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業

菱和エアコン株式会社* 株式会社ダイヤモンド
所在地 愛知県名古屋市 所在地 東京都港区
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業 主要な事業の内容 保険代理業

松浦電機システム株式会社* KYODO TECHNO MYANMAR CO., LTD.
所在地 大阪府守口市 所在地 ミャンマー連邦共和国
主要な事業の内容 電気設備工事業 主要な事業の内容 建設資材製造販売業

PT.TECHNO RYOWA ENGINEERING*
所在地 インドネシア共和国
主要な事業の内容 空調衛生設備工事業



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待内容

ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

ご優待品「特選茶」

株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株

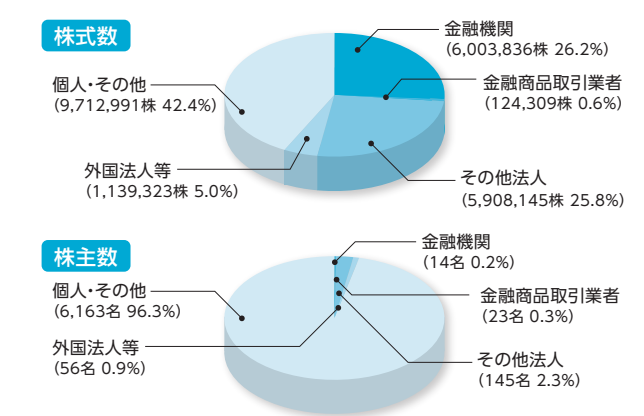
当中間期末現在の株主総数 6,401名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
テクノ菱和取引先持株会	2,193	9.9
三菱重工サーマルシステムズ株式会社	1,424	6.4
株式会社三菱UFJ銀行	1,091	4.9
株式会社みずほ銀行	1,091	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	4.0
株式会社名古屋銀行	738	3.3
明治安田生命保険相互会社	734	3.3
株式会社京葉銀行	723	3.2
テクノ菱和従業員持株会	710	3.2
近重 次郎	672	3.0

※当社は、自己株式737,718株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告掲載URL <https://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先 【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】
●証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
●特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。
【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きの際に必要となります。なお、株式に関するマイナンバーの詳細につきましては、口座を開設されている証券会社等へお問い合わせ下さい。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<https://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
お問い合わせ TEL: 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

